

未来へ続く自然の贈り物。



21世紀の森公園

INFORMATION

(財)いわき市公園緑地観光公社

大きな夢を 21世紀の未来へ

21世紀の森公園整備事業

■事業概要

21世紀の森公園は、
21世紀の森構想の中の各種スポーツ、レクリエーションを
展開するための機能を担う総合公園として、
平成元年度より工事に着手し、平成7年度には
公式野球場及び球技場のあるスポーツゾーン
37.9haの整備を完了しています。
平成8年度からは、市民が気軽に各種の交流や
イベントに利用できるコミュニティー広場ゾーンの整備に
着手しています。



■21世紀の森公園整備計画



■21世紀の森公園整備計画

1. 公園面積 / A=89.2ha
2. 公園種別 / 総合公園
3. 都市計画決定月日 / 平成元年7月14日
4. 事業認可月日 / 平成元年10月31日
5. 整備実績及び計画

(1) 平成7年度まで (第1期事業内容) A=37.9ha
●スポーツゾーン
(国体関連施設整備事業、平成元年度～平成7年度 完了)
事業費: 163億円

- 野球場 (公式野球場、夜間照明灯6基)
収容人員30,000人、建設費60億円
- 球技場 (ラグビー、サッカー等)
収容人員5,600人、建設費15億円
- その他の施設
(多目的広場、園路、駐車場、汚水処理場、花の谷等)

(2) 平成8年度以降の整備内容 (第2期事業内容)

- ① コミュニティー広場ゾーン

- (平成8年度～平成18年度予定) A=24.2ha
- 施設内容: 集いの広場 (集いの庭、水柱の庭交流の庭)、芝生広場、わんぱく広場、彩りの園多目的フィールド
 - ② センターゾーン (整備年度未定) A=1.2ha
●施設内容: センターホール、センター広場、サービスヤード
 - ③ 自然冒険ゾーン (整備年度未定) A=25.9ha
●施設内容: 自然冒険コース、野草広場、展望広場、湿地苑

【21世紀の森公園の基本方針と整備理念について】

21世紀の森公園は、ふくしま国体関連施設整備事業として、公式野球場、球技場のあるスポーツゾーンの整備を先行して実施し、平成7年4月には供用開始しています。

21世紀の森公園は、
〈スポーツゾーン〉

- 野球、サッカーなどの本格的な試合、その他の大規模イベントにも対応できるエリア。

〈コミュニティー広場ゾーン〉

- 各種の交流やイベントなど多目的に、そして気軽に利用できるエリア。

〈自然冒険ゾーン〉

- 自然林を活かしながら、必要最小限の施設整備をして、自然に触れ親しむエリア。

〈センターゾーン〉

- 公園全般の維持管理機能や公園利用者のための休憩所、その他の便利施設を備えたエリア。

以上の4ゾーンで構成されており、「シンボルゾーンの形成」「気軽に利用できる開かれた公園づくり」「くつろぎを感じるリフレッシュ空間の整備」「多様な利用目的に対応できる公園づくり」を基本理念として、いわき市の中核的な交流の場となる総合公園の整備を目指しています。





バリエーション豊かな くつろぎとリフレッシュの公園 21世紀の森公園。



いわきグリーンフィールド

ラグビー、サッカーをはじめアメリカンフットボールに利用でき、各種大会に幅広く利用されます。

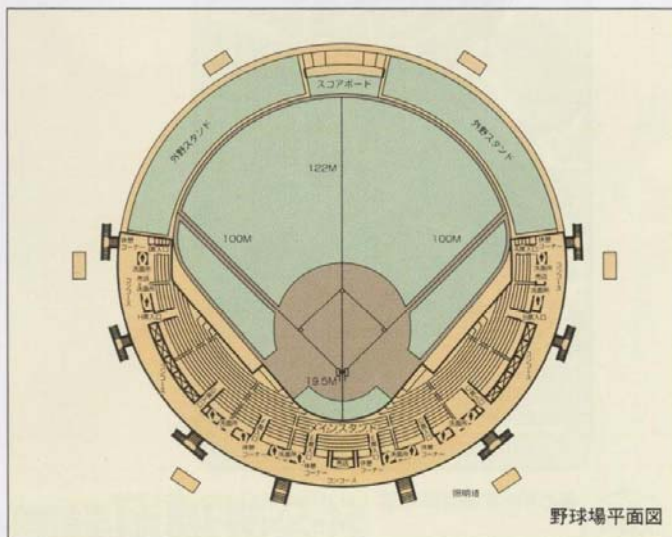
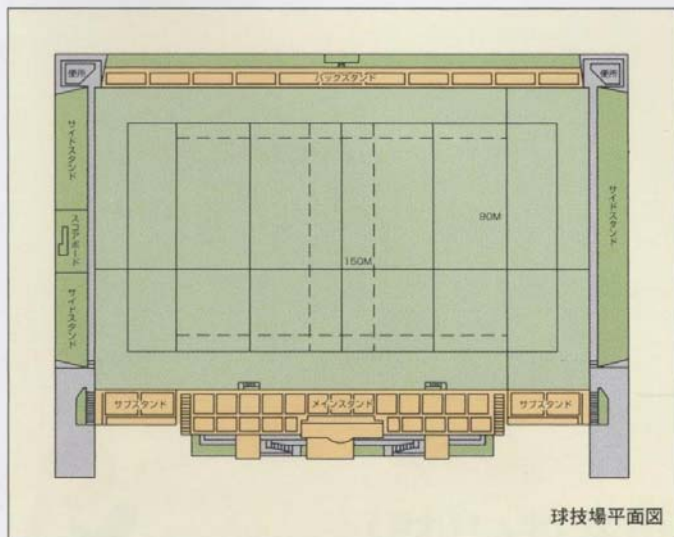
■施設概要 ●収容人員・5,600人(メインスタンド・1,725人・サブスタンド・575人・バック及びサイドスタンド3,300人) ●主な諸室・事務室・医務室・放送室・記者室・選手控室・選手シャワー室・売店 ●面積・建築1,384.16㎡・延床1,779.94㎡・高さ13.54m ●階数・地上3階



いわきグリーンスタジアム

周囲の景観にマッチさせた外周円形の野球場は、プロ野球の公式戦が可能な施設で、各種イベント会場としても利用されます。

■施設概要 ●収容人員・30,000人(内野14,240人・外野15,760人) ●主な諸室・事務室・医務室・本部室・ラジオ放送室・テレビ放送室・記者室・ダッグアウト・ロッカー室・選手用シャワー室・選手用控室・屋内練習場・売店 ●面積・建築8,582.83㎡・延床16,100.92㎡・高さ19.7m ●電光表示・高輝度放電感方式 ●照明塔6基



21世紀の森公園

〒972-8321 いわき市常磐湯本町上浅貝 110-33 TEL0246-43-0033



- 交通のご案内
- お車=常磐自動車道・いわき中央ICより…約12分
いわき湯本ICより…約15分
 - 列車=JR常磐線・「いわき駅」より…約18分
「湯本駅」より…約5分

